

次回も女性「採用編」フォーラム

会員企業の人事担当者を対象にした「第5回人材育成フォーラム」の内容を確認した。11月16日(金)午後1時半から、日遊協本部会議室で開催される。第4回フォーラムに引き続き「女性が活躍できる組織づくり」をテーマに、今回は「採用編」として(株)リクルートが講演する。おもな内容は女性社員を多く採用している企業の採用方法、社内体制、取り組み方、平

成14年の採用動向など。講演後、各社の取組み紹介、班に分かれてのフリーディスカッションなどが行なわれる。前回同様30人前後の参加が予定されている。

岡崎氏は昨年6月の第1回フォーラムで「昨今の就職採用の傾向と対策」入社後活躍する人材を獲得するため」と題して講演しており、2度目の登壇となる。人材育成フォーラムは、各企業の人事担当者が集まり、それぞれが抱える人事の課題について意見交換して解決のヒントを見つけ、担当者同士の人脈形成の場となるように期待されている。

出展の作業分担へ

パチンコ産業合同説明会

パチンコ産業合同説明会の企画案が提示された。2014年卒業予定者を対象に、12月9日(日)、千葉・幕張メッセで(株)リクルートが主催する「リクナビLIVE」にブース出展する。ブース内での

講演者(会員企業の社員)の選定、団体・企業への協力依頼や役割分担などを協議した。

ブース出展の趣旨は、就職活動を始めたばかりの学生にパチンコ業界の正しい知識と魅力を伝え、

①ホール、メーカー、販社、周辺事業の各業種についての理解を深めてもらって応募者を増加させる

②新卒採用予定の会員企業の後押しを図る ③採用とは別に、若年層がユーザーに加わるきっかけづくりにする——としている。

「リクナビLIVE」へのブース出展は、10年11月以来2回目となる。今回は1日のため600人の動員を予定する。

産業合同説明会

会員に協賛のお願い

日遊協と人材育成委員会は10月12日、「パチンコ産業合同説明会」協賛のお願い」と題する文書を会員宛に発した。日遊協と同委員会は、12月9日に千葉・幕張メッセで開かれる2014年卒業予定学生対象の「リクナビLIVE」(株)リクルート主催)に、「パチンコ産業合同説明会」ブースを出展するが、これについて、新卒採用を

予定している企業に対し、①運営費用として協賛金10万円 ②学生応援メッセージへ載せる映像——の協力を要請した。

マネカレ・アンケート

人脈・情報などを評価

宿泊や時間などの不満も

9月27、28日に東京・晴海で行われた「第6回遊技産業マネジメント・カレッジ」で、研修参加者60人から回収したアンケート調査の結果が、10月12日の人材育成委員会で報告された。

〈良かった点・印象に残った点〉(重複回答あり)では、「他業種・同業他社との交流ができた・人脈が広がった」が30人、「意見交換・情報交換ができた」が16人、「グループディスカッション」が14人と多かった。山口良治氏(元ラグビー日本代表)の〈特別講演の感想〉(同)は「熱くなった・熱意が伝わってきた・感動した」とする意見が34人あった。

一方で、〈改善すべき点〉(同)では、「宿泊施設の改善・部屋が狭い・個室がよい」の11人を筆頭に、「1泊2日は時間が足りない」などの意見が出された。



合同説明会の準備等話し合った人材育成委員会

遊技機委員会

ホールとWEBで意見交換

10月16日
本部会議室
出席委員等12人

来春に予定される遊技機アワードの実施要領（選考基準、選考方法、表彰日程、部門分け等）を協議した。遊技機アワードは、その年に導入され、ファンに楽しんでいただいた遊技機を部門別に表彰する。

新しい事業として、業界横断的な日遊協の特徴を生かし、WEB上のアンケートによる意見交換システムを導入する案を協議した。例えば遊技機について、ホール、メーカーそれぞれの視点からの意見をメールで収集・集計・分析し、新機種の開発を含む多方面で役立てたいとする計画。実施には、「委員以外のメール参加者の選定」「参加企業へのアプローチ方法」「アンケートの設問」「アンケート集計ツール」など検討項目が多く、次回の委員会でさらに協議する。事前に委員だけで試験的に行った、特定機種についてのWEBアンケート結果が提出され、フリートークで感想を出し合った。

10月4日に札幌で開かれた「健全営業推進セミナー2012」の

展示会場ブースに、日遊協として「パチンコ&パチスロフェスタ2012」（6月1〜2日、東京・秋葉原）のコンセプト機（パチンコ機、パチスロ機各4台）を展示した結果が報告された。参加者の反応ではコンセプト機が存在があまり知られておらず、今後の課題として残った。

景品関連促進PT

10月16日
本部会議室
メンバー等7人

流通とのコラボへ

勉強会の継続を確認

これまでプロジェクトチームで行ってきた議論を整理し、今後の方向を検討した。「換金がほとんどという現状では、世の中からは『実際は、パチンコはギャンブルではないか』と判断されてしまう。そんなことにならないように、業界は魅力ある景品と景品場づくり



遊技機アワード等について協議した遊技機委員会

を急がなければならない」（福井章担当副会長）という認識で一致した。コンビニ商品の景品導入等、流通業とのコラボレーションの可能性について、(株)ファミリーマー

トとの「勉強会」を続けていくことを確認した。

風営法PT

10月30日
本部会議室
メンバー等10人

検定申請の新措置など

ホール5団体風営法検討会WG（10月15日）での今後の進め方の内容が報告された。これを受けて風営法PTとして、今後の風営法の法令等の改正要望（規則及び内閣府令）について検討した。

警察庁が10月11日、日遊協、日

工組、日電協の3団体に説明した。遊技機の検定申請時に添付する住民票に関する緩和措置が報告された。（5ページに関連記事）

消費税PT

10月12日
本部会議室
メンバー等14人

全日遊連提案など検討

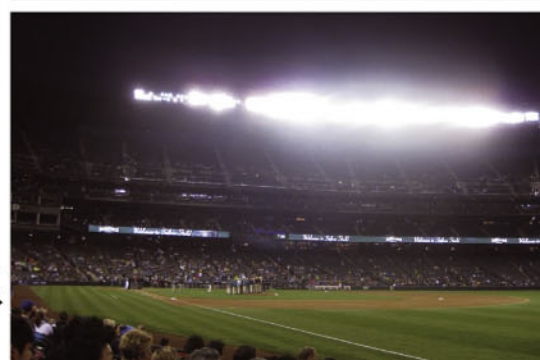
10月9日に開かれたホール5団体消費税対応ワーキング（全日遊連、日遊協、同友会、余暇進、PCSA）の内容が報告された。同ワーキングでは、ホールの消費税対応に関して行政の判断をおおぐ部分の質問内容が論議され、その際、全日遊連から質問内容の骨子として「遊技料金の解釈について（遊技料金に消費税を含むか否か）」等が提案された。PTでは全日遊連提案を改めて検討した上で、日遊協としての消費税対応について協議した。

消費税増税対応について協議した消費税PT



言葉ではない、心の対応 個性豊かで統一感もある

日遊協の「ラスベガス・シアトル研修2012」が10月1日から6日間の日程で行われた。ホール中心に経営者から現場スタッフまで70人の大視察団だった。参加者の1人、サンキョー(株)松本泰志氏(25)(SAP草加店)によるリポートからは、パチンコ・パチスロ産業の若手幹部が、はじめて接したエンターテインメントビジネスの本場で何を感じ、何を学んだかが伝わってくる。(写真も)



凄異球場の一体感

10月1日、成田空港を出発して10時間後にシアトルに到着した。その日の夜、セーフコフィールドでマリナーズの試合を観戦した。試合前から多くのファンが球場に集まっていた。ブルペンで投球練習をする選手の周りに子どもたちが群がり、選手は時折ボールにサインしたりして、子供たちの声援にこたえていた。音楽が鳴りまくってキャラクターがグラウンドに登場して、ファン感謝イベントが始まった。球場の一体感は目を見張るものがあり、試合が始まるとなおさらだった。1投1打すべてに歓声を上げ、あと1球で三振になる時に、黄色い「K」の

看板を掲げた応援団が声を張り上げ声援していた。マリナーズは負けたが、とても良いものを見た気がした。

2日目、シアトルを朝に発ち、昼頃、空路ラスベガスに着いた。空港ロビーのスロットマシンとラスベガスと書かれたネオンを見て、ギャンブルの町に来たと感じた。空港からバスまで数m歩いただけで暑さに驚かされた。シアトルとの温度差が約20度! 湿度は低いがそれでも十分暑かった。

十分楽しめたカード

夕食はバフェイに行った。バフェイはラスベガス流バイキングで、ローストビーフが絶品だった。ここでブラックジャック早見表をも

特徴を生かすホテル

3日目は7つのホテルカジノ視察だった。サーカスサーカスホテルは家族向けのホテル。ラスベガス唯一の屋内遊園地「アドベンチャードーム」は休園だったが、ミッドウェイという日本の縁日のような場所があり、子供でも楽しめるものがあった。

ハードロックホテルは文字通りロックがテーマで、プールの水中にまでロックが流れているそうだ。店内にはギターの装飾がされたスロットマシンが置かれ、客層は若かった。アリアリゾートは最先端に行くホテルで内装にもこだわりがあり、彫刻や絵画などの芸術味があふれていた。どのホテルも個性豊かで多種多様なエンターテイメントやサービスを売りにしていた。その大半が無料で体験で

ジャックポットを引くともらえる車(サーカスサーカスホテル)▶



飛行機がUターン
4日目は自由行動。オプショナルツアーでグランドキャニオンに行った。小型機でノース・ラスベガス空港からグランドキャニオン空港に50分かけて向かう。ところが私の乗った機は途中で旋回して戻ってしまった。メンテナンスが必要になったらしい。約1時間後に飛び立つことができた。これもまた良い思い出。空から見るラスベガス、フーバーダム、グランドキャニオン、どれも絶景だった。

ードがあり、顧客管理と特典やサービスの提供による囲い込みを目指していた。この視察で自店に足りないものに気付かされ、ラスベガスに勝るようなものを体現したいというモチベーションを高めることが出来た。

きることに驚かされた。7つのホテルに共通していたことは、統一感が図られ、テーマやモチーフに合わせて内外装やスタッフの服装・サービスに至るまで揃っていた。
また、どのカジノもプレイヤーズクラブカードが

HPのデータ充実へ
「第3回パチンコ・パチスロ エッセー・絵手紙コンクール」のポスターが紹介された。例年通り11月から募集を開始し来年2月

広報調査委員会
10月6日
本部会議室
出席委員等11人

とくにグランドキャニオンは言葉でいい表せないほどスケールが大きく、写真で写しきれないほど自然美があふれていた。
今回の研修で、ラスベガスのカジノから大切なことを学んだ。「接客はコミュニケーションが大事」だと痛感した。「言葉が通じる・通じない」「態度が丁寧・丁寧ではない」等はもちろん重要だが、その本質は「相手を思いやり、理解しようとするか・しないか」ではないかと思った。多くのサービスや施設は、いくら用意しても気づいて使ってもらわなければ意味を成さない。そのときに従業員がその案内役になるべきだと思う。一人ひとりのお客様をしっかり見て、かゆい所に手が届くような「おもてなしの対応」がどの事業にも必要となってくると感じた。

また、どのカジノもプレイヤーズクラブカードがあり、顧客管理と特典やサービスの提供による囲い込みを目指していた。この視察で自店に足りないものに気付かされ、ラスベガスに勝るようなものを体現したいというモチベーションを高めることが出来た。

第3回 エッセー 絵手紙 コンクール 応募要項

募集中!

誰でも、気軽に、応募しよう

テーマ
「パチンコ・パチスロ 私の楽しみ方」
「パチンコ・パチスロへのメッセージ」

- エッセーは2000字以内でまとめて、なるべく電子メールで送稿してください。
- 絵手紙は市販のハガキに絵と文字で作成してください。
- 住所・氏名・年齢・職業・電話番号(携帯も可)を明記して、電子メールまたは下記事務局まで封書でお送りください。

募集期間 2012年11月1日(木)～2013年2月28日(木)
発表 2013年6月6日(木) 日遊協ホームページ <http://www.nichiyukyo.or.jp/>

賞品
エッセー—— 最優秀賞 旅行券30万円分1人 優秀賞 旅行券10万円分2人
佳作 商品券1万円分10人
絵手紙—— 最優秀賞 旅行券15万円分1人 優秀賞 旅行券5万円分2人
佳作 商品券1万円分10人
入賞作品の著作権は、日本遊技関連事業協会に帰属するものとします。

応募先及びお問い合わせ先

E-mail : bosyu@nichiyukyo.or.jp
社団法人日本遊技関連事業協会コンクール事務局
〒104-0033 東京都中央区新川2-12-15 ヒューリック八丁堀ビル2F
TEL03-3553-4333 FAX03-3553-4334

応募された個人情報については、個人情報に関して摘要される法令や規範を遵守し、コンクールの目的以外には一切使用致しません。

主催 社団法人日本遊技関連事業協会
協賛 全日本遊技事業協同組合連合会・日本遊技機工業組合・日本電動式遊技機工業協同組合
全国遊技機商業協同組合連合会・回胴式遊技機商業協同組合・遊技場自動サービス機工業会

作品募集
第3回 パチンコ・パチスロ エッセー・絵手紙コンクール
テーマ:「パチンコ・パチスロ 私の楽しみ方」/「パチンコ・パチスロへのメッセージ」
募集期間: 2012年11月1日(木)～2013年2月28日(木) 発表: 2013年6月6日(木)
賞品: 最優秀賞 旅行券30万円分(1名) 優秀賞 旅行券10万円分(2名) 佳作 商品券1万円分(10名)
最優秀賞 旅行券15万円分(1名) 優秀賞 旅行券5万円分(2名) 佳作 商品券1万円分(10名)
主催: 社団法人日本遊技関連事業協会
協賛: 全日本遊技事業協同組合連合会・日本遊技機工業組合・日本電動式遊技機工業協同組合
全国遊技機商業協同組合連合会・回胴式遊技機商業協同組合・遊技場自動サービス機工業会
E-Mail: bosyu@nichiyukyo.or.jp

第3回エッセー・絵手紙コンクールのポスター